岩手県赤十字血液センターの歩み

初代社長
佐野　常民

1877 西南戦争
↓
1877「博愛社」設立
↓
日本赤十字社の誕生

（有栖川宮熾仁親王による設立許可）

世界の動き

1900 血液型の発見（Landsteiner）

日本赤十字社 血液事業の動き

1900 新渡戸稲造『Bushido(武士道)』刊行

1914 血液の抗凝固剤を発見（Hustin ら）
→ 血液の保存が可能になる

1919 日本初の輸血

1952 日本赤十字社東京血液銀行業務所　開業
→ 現 赤十字血液センター
→ 健康な人に献血を呼びかける

1956 血液法制定

1965 岩手県赤十字血液センター 開所（盛岡市中央通1丁目）

1968 血液センター新築移転（盛岡市中央通1丁目）

国内の動き

1904 日露戦争

1939 第二次世界大戦

1940 Rh血液型の発見

1941 太平洋戦争

1964 ・ライシャワー事件
・「献血の推進について」の閣議決定（売血から献血へ）
・東京オリンピック

1965 ・岩手県献血推進協議会開催
・移動献血車「まごころ」を整備
→ 第1回移動採血実施(県庁)

1966 ザ・ビートルズ日本武道館公演

1970 B型肝炎ウイルス発見

1971 HBs抗原検査開始

1980 瓶採血からバッグ採血に移行

1981 HLA抗体スクリーニング検査開始

1982 生化学検査サービス開始

1983 エイズウイルスの発見

1986 ・400mL献血、成分献血の導入
・HIV抗体検査開始

1987 C型肝炎ウイルス発見

1989 ベルリンの壁崩壊

1989 HBc抗体、HCV抗体検査開始

1991 湾岸戦争

1994 エイズウイルスのため HIV-2の抗体検査開始

1997 献血200万人達成

1999 核酸増幅検査(NAT)導入

2001 クロイツフェルトヤコブ病防止のため規制強化

2000 献血ルーム「メルシー」移転オープン

2003 ホームページ開設

2011 東日本大震災

1993 第29回献血運動推進全国大会（盛岡市）
→ 皇太子・同妃殿下ご視察

1991 ・盛岡市三本柳に新築移転
・第1回ライオンズクラブ献血推進研究会開催

1995 阪神淡路大震災

1987 献血ルーム「メルシー」オープン

1985 ・第1回クリスマス献血キャンペーン
・献血100万人達成

1987 利根川進氏(免疫の多様性)がノーベル生理学・医学賞を受賞

1982 東北新幹線開業

1981 大型移動献血車「まごころ4号」整備

2012 広域事業運営体制

2014 ・個別NATを開始
・献血申込書・問診票の完全電子化

2013 奥州供給出張所 開所

2014 献血300万人達成

2015 ・献血ルーム
新渡戸稲造コーナー新設
・ホームページ
3つの新コーナー開始
①巌手歴史街道
②ヘルスケアコーナー
③温故知新
・Dream-ECG
遠隔支援装置設置

2015 大村智氏(イベルメクチンの発見)がノーベル生理学・医学賞を受賞

2012 山中伸弥氏(iPS細胞)がノーベル生理学・医学賞を受賞

開設50周年

少子高齢化

「2025年問題」

若年層の献血者減少？

岩手県 偉人と景勝地

明治

大正

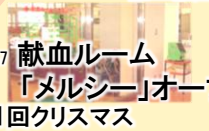
昭和

平成

第9代社長
川西　實三

岩手の偉人 新渡戸稲造を崇拝

第14代社長
近衛　忠煇



▼第2代支部 中村直「逍遥遊庭」
▼第3代支部長 工藤巌「永遠の今に生きる」
▼盛岡赤十字病院「逍遥遊庭」
▼岩手県支部「ヒポクラテスの木」

岩手県赤十字 血液センターの動き

支部長（県知事）
①千田正　②中村直　③黒川廣重　④庄司三郎　⑤菅原佰有　⑥新津勝宏　⑦中舘先発郎　⑧松田勲　⑨谷口繁　⑩吉田部彦　①圃田清昭　⑫井上洋西　⑬中居賢司

所長
①小澤栄作　②阿部誠　③工藤巌

編集：佐々木　綾
監修：中居　賢司